

北神けいろいろの国政報告：10月号

京都4区の代表として 地域の声を感謝の気持ちで国政へ

いつも大変お世話になっています。

みなさまの力強いご支援により、今回は京都4区、地元の代表として、ご信託を受け、再び国会にお送りいただきました。これからも引き続き、みなさまからのご期待とご支援にこたえるべく、国会内外で奮闘してまいります。

さて、いよいよ鳩山内閣が発足をしました。

京都からは、前原国土交通大臣や松井孝治官房副長官をはじめ、多くの仲間が副大臣や政務官として、活躍の場を与えられました。私自身もこの度、国会対策副委員長と経済産業委員会の筆頭理事を仰せつかりました。

国会対策とは、法案や予算案について、しっかりと国会で議論をし、場合によっては修正をかけながら、できるだけ効率よく可決成立させる仕事です。

国会の日程から、法案等の審議時間、与野党の質問時間、法案の審議の順序や修正などを行います。

また、経済産業委員会の筆頭理事は、中小企業対策、商店街対策、エネルギー政策などについて法案等を審議する当委員会に与党の委員の代表として、野党と折衝をすることになります。地味でありながら、きわめて大事な仕事であります。

特に、経済産業委員会では、景気の問題について皆様の生活の叫び声を届けてまいります。亀井金融担当大臣が、中小企業の資金繰りについて問題提起をしましたが、この政策の具体案のとりまとめにも深く関わっています。

京都でも、中小企業こそが地域の雇用と活力を守っています。これらの中小企業が、不況を乗り越えるために、民間の金融機関への検査を通じて指導をするとともに、信用保証や公的金融機関も全面的に活用していかなければなりません。

一期目の議員から、4年間、経済産業委員会において、中小企業対策にかかわってきました。政権党となった今、実際に政策を実行することができます。

今後もしっかりと頑張りますので、皆様からご指導賜りますよう、心からお願い申し上げます。